

SPH10/20シリーズ スタティック・プレッシャー・ヘッド

風による誤差を最小化

SPH10/20シリーズ スタティック・プレッシャー・ヘッドは、風による気圧計の指示値への影響を最小限に抑えます。

風の影響は、気圧計測の誤差の主な原因の一つです。動圧による影響を除去するスタティック・プレッシャー・ヘッド（屋外気圧取り入れ口）の使用により、強風や突風による計測値の影響を最小化することが可能です。

SPH10/20シリーズ スタティック・プレッシャー・ヘッドは、風の影響によって生じる誤差を最小限に抑えるよう設計されています。風洞試験済の構造は、水平方向、垂直方向にも対称となっています。この設計により、信頼性の高い全天候型の気圧計測を実現します。

屋外への取り付けに最適

ヴァイサラのスタティック・プレッシャー・ヘッドは、基本タイプのSPH10、雪氷条件下においても高い信頼性を提供する加温タイプのSPH20の2種類のモデルをご用意しています。加温タイプのSPH20は、着氷の恐れがある温度になるとヒーターの電源が入るサーモスタットを備えています。紫外線に強いPC樹脂とアルミニウム合金で構成されるSPH10/20は丈夫で、天候への耐性に優れています。

SPH10/20は雨や結露水から保護されているため、圧力誤差の原因となるパイプ部の毛細管浸水を防ぎます。下側のプレートに開けられた孔により、雨水や水は排出されません。スタティック・プレッシャー・ヘッドの内側にはネットが張られており、昆虫やダストによるパイプ部の詰まりを防止します。

簡易メンテナンス

SPH10/20シリーズ スタティック・プレッシャー・ヘッドは、取り付け、取り外し、メンテナンス、洗浄が簡単に行え、設置場所でもこれらの作業が行えます。ヴァイサラ BAROCAP® PTB210 デジタル気圧計は、SPH10/20の先端に直接取り付けることが可能です。その他の気圧計も、圧力チューブで接続できます。

SPH10およびSPH20は、ヴァイサラの気圧計のオプションとして最適な製品です。どんな気象条件でも、高精度かつ信頼のおける計測を実現します。



SPH10/20は取り付けが簡単です。写真のSPH10はPTB210に接続されています。

特長

- 風の影響を最小限に
- 全天候型の信頼できる気圧計測
- 風洞試験済の構造
- 簡単なクリーニング
- 取り付けが容易

技術情報

動作環境

動作温度範囲 -60~+80°C

一般仕様

質量 SPH10 : 800g
SPH20 : 1,360g

材質 PCプラスチック、
アルミニウム合金

取り付け ボルト2本 (M6×最小20mm)

気圧チューブ接続部 内径4mm チューブ用フッティングまたは Rp1/4 ネジ (平行)

SPH20 入出力

結線 M12 コネクタ

電源 工場設定 : 12V
設定変更時 : 24V

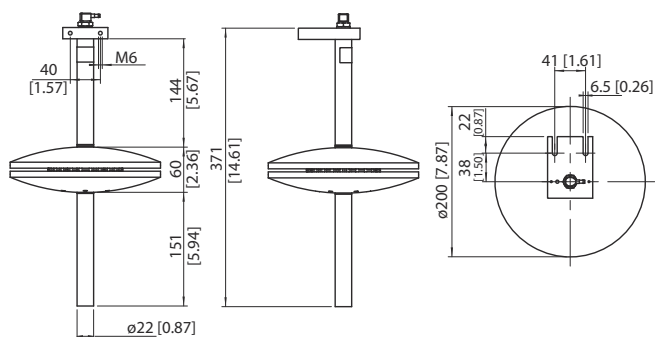
消費電力 (ヒーター使用時) 70W

サーモスタット作動温度

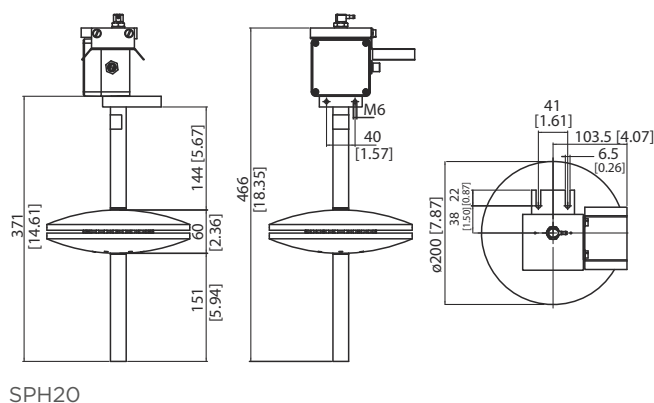
オン +4°C (±3°C)

オフ +13°C (±3°C)

寸法 (mm)



SPH10



SPH20



VAISALA

www.vaisala.com

ヴァイサラ株式会社発行 | B210907JA-B © Vaisala 2021

本カタログは著作権によって保護されています。本カタログに掲載されている全てのロゴおよび製品名は、ヴァイサラまたは関連会社の商標です。本カタログに記載されている情報の複製、譲渡、配布、または保存は、固く禁じられています。技術的仕様を含め、全ての仕様は予告なく変更されることがあります。